

○：対応済み
△：一部制約ありで動作可能
×：動作確認中 又は 未対応
-：非対応

- 未定部分は、決定次第お知らせします。
- 動作検証中のものは、検証完了次第情報更新します。
- 注意事項は対応しない場合が殆です。

製品名	実行バージョン	Windows 10	Windows 11	Windows 11	Windows	対応予定バージョン	対応時期・備考	
		Ver.22H2 対応状況	Ver.22H2 対応状況	Ver.23H2 対応状況	Server 2022 対応状況			
QND Premium	Ver.11.0.8i	△	△	△	△		<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません。- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません。- Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません- ISM接続により収集したAndroidクワイアントのホスト名が表示されません <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません。(Ver.21H2では配布が行えます)- Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「フランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます <p>■Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- カスタムインベントリ (HDD 健全性チェック) が取得されません。- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません。- グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません- ISM接続により収集したAndroidクワイアントのホスト名が表示されません <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません- Windows 10/11の更新制御利用時に「フランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます <p>■Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません <p>■Windows 10 Ver.21H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクワイアントがインストールできません。 <p>■Windows 11 Ver.23H2</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- DevDriveが追加された場合、ファイルアクセス制御及びファイルアクセスログの取得対象外となります≡DevDriveがデフォルト動作はサードパーティ製のフィルタを無効化します。グループポリシーを変更する事で制御は可能です。- RdpSについては、サーバー用途など、Rdp接続のコマンドについてはサポート対象外となります。- ExplorerやNotepad等の一般的な操作については制御およびログ取得可能です。	
	SPM	Ver.3.9.2i	○	△	△	○	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 / Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- コンバート実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の新機スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります- 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします- 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとSPMクワイアントとSPMコンソールがインストールできません。
	QPM	Ver.1.2i SP15	○	○	×	○		<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です
	URL Filtering	Ver.5.2.4	○	△	△	-	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。
	QND ClientLog	Ver.2.6.11.5i (1)*(2)	△	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です*1 Ver.2.6.10でも同様*2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します - 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクワイアントが異常終了する <p>■Windows 11 Ver.21H2</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある- Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを開閉する場合、プリンターログが取得されない- Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない- Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューでスナップショットが表示されない- QCLクワイアントのインストールした場合は、イベントログにエラーが記録されることがある <p>■Windows Server 2022</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- クワイアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される <p>■Windows 10 Ver.21H2</p> <ul style="list-style-type: none">- QCLクワイアントのアンインストールした場合は、イベントログにエラーが記録されることがある <p>■Windows 11 Ver.22H2 / 23H2</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。- Power automateを使用して印刷時の印刷コマンドの先に「*」が付与される。
QND Standard	Ver.11.0.8i	△	△	△	△		<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません- Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません- ISM接続により収集したAndroidクワイアントのホスト名が表示されません <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません。(Ver.21H2では配布が行えます)- Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「フランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます <p>■Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- カスタムインベントリ (HDD 健全性チェック) が取得されません。- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません- グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません- ISM接続により収集したAndroidクワイアントのホスト名が表示されません <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません- Windows 10/11の更新制御利用時に「フランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます <p>■Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません <p>■Windows 10 Ver.21H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクワイアントがインストールできません。	
	SPM	Ver.3.9.2i	○	△	△	○	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 / Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- コンバート実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の新機スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります- 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします- 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【新機能事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとSPMクワイアントとSPMコンソールがインストールできません。
	QPM	Ver.1.2i SP15	○	○	×	○		<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です

製品名	実行バージョン	Windows 10 Ver.22H2	Windows 11 Ver.22H2	Windows 11 Ver.23H2	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応機種・備考	
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況			
QND Advance	Ver.11.0.8i	△	△	△	△		<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません- Windows 10 v20H2以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません- ISM連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されます <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません。(Ver.21H2では配布が行えます)- Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります「プランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます <p>■Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません。- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません- グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません- ISM連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されます <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません- Windows 10/11.0の更新制御利用時に「プランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます <p>■Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません <p>■Windows 10 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows 10最新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクライアントがインストールできません。 <p>■Windows 11 Ver.23H2</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- DevDriveが追加された場合、ファイルアクセス制御及びファイルアクセスログの取得対象外となります- DevDriveがファイル操作はサードパーティ製のファイルを実行すると、グループポリシーを変更する事で制御は可能です。- RdpSについては、サーバー用途など、Rdp接続のコマンドについてはサポート対象外となります。- ExplorerやNotepad等の一般的な操作については制御およびログ取得可能です。	
	SPM	Ver.3.9.2i	○	△	△	○	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 / Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- コンバート実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります- 発生発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします- 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとSPMクライアントとSPMコンソールがインストールできません。
	QPM	Ver.1.2i SP15	○	○	x	○		<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です
	License Guard	Ver.5.2	x	x	x	○		
	URL Filtering	Ver.5.2.4	○	△	△	-	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です- Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません <p>■Windows 11 Ver.22H2以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。
QND ClientLog	Ver.2.6.11.5i (*1)(*2)	△	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です*1 Ver.2.6.10でも同様*2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します- 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する <p>■Windows 11 Ver.21H2</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある- Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない- Windows1.0の新機能であるスナップレイアウト機能とスナップグループ機能が、QCLコンソールでは使用できない- Windows1.0の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューでスナップショットが表示されない- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある <p>■Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される <p>■Windows 10 Ver.21H2</p> <ul style="list-style-type: none">- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある <p>■Windows 11 Ver.22H2 / 23H2</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。- Power automateを使用して印刷時の印刷ログのドキュメント名の先頭に「*」が付与される。	
QND ClientLog	Ver.2.6.11.5i (*1)(*2)	△	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証です*1 Ver.2.6.10でも同様*2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します- 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する <p>■Windows 11 Ver.21H2</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある- Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない- Windows1.0の新機能であるスナップレイアウト機能とスナップグループ機能が、QCLコンソールでは使用できない- Windows1.0の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューでスナップショットが表示されない- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある <p>■Windows Server 2022</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される <p>■Windows 10 Ver.21H2</p> <ul style="list-style-type: none">- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある <p>■Windows 11 Ver.22H2 / 23H2</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">- 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。- Power automateを使用して印刷時の印刷ログのドキュメント名の先頭に「*」が付与される。	

製品名	発行 バージョン	Windows 10 Ver.22H2	Windows 11 Ver.22H2	Windows 11 Ver.23H2	Windows Server 2022	対応予定 バージョン	対応時期・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
ISH CloudOne							■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 - Windows 10 v2004以降の場合、ハードウェアインベントリの「Windows Update情報」にある「更新方法」が変更になる場合があります - グループポリシー「コンピュータの構成」・「管理用テンプレート」・「Windowsコンポーネント」・「Windows Update」で、「自動更新を無効する」を「有効」にし、「7・自動ダウンロード、インストール時に通知、再起動を通知」を選択している場合に本更新を無効 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel「Targeted」の設定が停止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新モデルを指定する」：SACT」を選択してもクワイアントに反映されません b. ハードウェアインベントリの「Windows 10 更新モデル」が常に「SAC」になります ■Windows 10 Ver.21H2以降 【制限事項】 - Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得されます ■Windows 11 Ver.22H2以降 【制限事項】 - 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」がオンの場合での動作は非対応です - ソフトウェア配布で配布実行アカウントを登録していない状態で、管理権限が必要なソフトウェアの配布を実行するとステータスが「実行中」のままになります ■Windows 11 Ver.23H2 【制限事項】 - Windows11(22H2)からWindows11(23H2)005アップグレードをインストールアシスタントで更新した場合、ISHの通知がオフになります - Edgeの検索バーを有効にしたままISHクライアントをアンインストールする際に、検索バーを終了してからリトライという旨のメッセージが出力されます
	外部メディア制御（オプション）	Ver.7.3.11	○	△	△	○	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 - 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ■Windows 11 Ver.23H2 【制限事項】 - DevDriveが追加された場合、ファイルアクセス制御及びファイルアクセスログの取得対象外となります ※DevDriveのデフォルト動作はサードパーティ製のフィルタを無効化します。グループポリシーを変更する事で制御は可能です。 - Rufusについては、サーバー側など、Rufus固有のコマンドについてはサードパーティ対象外となります。 ※ExplorerやNotepad等の一般的な操作については制御およびログ取得可能です。
	操作ログ（オプション）	Ver.7.3.11	○	○	○	○	■Windows 11 Ver.23H2 【制限事項】 - DevDriveが追加された場合、ファイルアクセス制御及びファイルアクセスログの取得対象外となります ※DevDriveのデフォルト動作はサードパーティ製のフィルタを無効化します。グループポリシーを変更する事で制御は可能です。 - Rufusについては、サーバー側など、Rufus固有のコマンドについてはサードパーティ対象外となります。 ※ExplorerやNotepad等の一般的な操作については制御およびログ取得可能です。
	ふるまい検知（オプション）	Ver.3.4.6	○	○	○	○	
	ディスク暗号化（オプション）	82.10.9575	x	x	x	-	未定
	URL Filtering（オプション）	Ver.5.2.4	○	△	△	-	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Windows 11 Ver.22H2以降 【制限事項】 - 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。 - Android 11以降の端末など、Google Play以外のアプリケーションと取得の場合にAndroid版 Safeブラウザを経由した特定アプリの起動ができません。（2023/3/現在確認済み） Safeブラウザを経由しない形で該当アプリを起動できるよう起動します。 例：「Teams」「ドコモあんしんセキュリティ」
	Windows10/11アップグレード支援（オプション）	Ver.7.3.11	○	○	x	-	
KeyServer		Ver.7.8	○	○	x	○	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H1以降 / Windows Server 2022 【制限事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - 「コントラストターミ」を使用した場合、UIの表示が非常に遅い状態となります
eX WP		Ver.4.4i SPS	△	△	x	△ 正	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 - RPTモード、またはRPT2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません ■Windows 10 Ver.20H2以降 【制限事項】 - Windows 10 20H2以降へのバージョンアップに失敗する場合があります ■Windows 10 Ver.21H2以降 【制限事項】 - Windows 10のハイコントラストを設定すると、AdminMenuの文字が見えなくなります ■Windows 11 Ver.21H2以降 【制限事項】 - アクセシビリティコントラストテーマを「夜間」に設定すると、AdminMenuの文字が見えなくなります ※Windows Server 2022はAdmin Menuの別名となります
QQR		Ver.1.4	x	x	x	x	■Windows 10 Ver.21H1 動作検証中 ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 Ver.21H2/22H2 検証時間調整中 ■Windows Server 2022 検証時間調整中
Quality Gaiho PDF Suite		Ver.5.5	△	△	x	△	■Windows 10 Ver.1903/1909/2004/2009/20H2/21H1/22H2/Windows 11 Ver.21H2 / Windows Server 2022 【制限事項】 - Windows 10 1903以降、Windows 11、Windows Server 2022においてGaiho PDF Suite-インストール時、PDFビューアをGaiho Docに変更して6、設定が変更されます。 ■Windows 11 Ver.21H2/22H2 - コントラストテーマを使用した際、一部UIが正しく表示されません - Office 365-インストール環境で、デキストファイルはPDFファイルへ変換できません ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 - 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクライアントがインストールできません。

製品名	実行バージョン	macOS (11)	macOS (12)	macOS (13)	macOS (14)	対応予定バージョン	対応情報・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
QND Premium/Advance/Standard	Ver.11.0.8i	△	△	△	△	未定	<p>【前提事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> -TCP/IP関連接続機能は利用できません。 -以下のインベントリブラウザインを利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・フォントインベントリ(BuPackFont) ・コンソール(Console.app)は、UTF-16LEに対応していません。テキストエディタ(TextEdit.app)を利用し、SystemPreferencesでText encodingを(UTF-16LE)に設定してQND.logを参照してください。 -sandboxタイプのアプリケーションは、SUを利用して起動できません。sandboxタイプのアプリケーションの識別方法は、ActivityMonitor.appのメニューから「View」→「Columns」→「Sandbox」をOnにします。ActivityMonitor.appの画面の「Sandbox」の列に、sandboxタイプのアプリケーションは「Yes」、#sandboxタイプのアプリは「No」が表示されます。 -ソフトウェア署名の取得として「タスク」→「配布」→「ファイル転送」で取得する「配布するソフトウェアのプロパティ」で「配布ファイルが転送先フォルダにある場合転送、なければ転送しない」を指定、比較先ディレクトリ名を設定しても参照せず、転送先ディレクトリ名を参照して動作します。 -ソフトウェア配布の指定として「タスク」→「配布」→「ファイル転送」で指定する「配布するソフトウェアのプロパティ」で「転送先ディレクトリ名を設定して「コピーにないファイルを除く」を指定」を指定する場合は、事前にmacOSの設定で、「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「ファイアウォール」で「QND5」に対するファイアウォール設定のチェックを有効にする必要があります。 -Apple M1 CPU では、インベントリのCPU スピード、CPU 外部クロックは、正確な値を返できません。 -任意インベントリを入れた内部をmacOS12の解読機能で翻訳すると翻訳結果を表示する吹き出しに何も表示されません。 -macOS10.15以降では、クワイアントでクワイアントモジュール更新後の最新の起動時、「「QND5.app」でこのコンピュータの画面を記録しようとしています。」の画面が表示されるので、許可設定してください。 -macOS10.14以降では、クワイアントでクワイアントモジュール更新後の最新の起動時、「「QND5.app」は、アクセラビリティ機能を使用してこのコンピュータを制御することを求めています。」の画面が表示されるので、許可設定してください。 -MacOSAdobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)実行時、クワイアントでmacOS10.14以降は、ネブラグインの初期とAdobe製品ライセンスの取得、主要部のインベントリ更新時にクワイアント「AdobeInfo」は、ネブラスに送る→「Adobe Licensing Information」ダイアログへ、アクセスしようとしています」のダイアログが表示されます。ネブラスに送る必要がなくなった場合、パスワードにログインユーザーのPCログインパスワードを入力して、「常に許可」ボタンをクリックしてください。なお、ネブラスは、ログインユーザー毎に表示されます。 また、ネブラスでは、PC再起動時に表示される場合があります。ネブラスに送る必要がなくなった場合、タスクが終了しない状態となります。 -スレーブサーバに転送時のみ表示、指定したスケジュールに実行し、画面は記録できません。 -macOS13以降を利用するためには、QND1.0.1力更新プログラム(2023.02)の適用が必要です。 -macOS13以降では以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・クワイアントの「セキュリティとプライバシー」の「フルディスクアクセス」に「QND5」を手動登録し機能をOnに設定する必要があります。(QT0836) ・Adobeプラグイン(AdobeInfo)は、クワイアントで初期起動時に「...フォルダ内のファイルにアクセスしようとしています」と画面が表示され「On」「許可しない」が実行されます。この画面で「OK」とする必要はありません。「許可しない」とした場合は、手動で「フルディスクアクセス」内のAdobeプラグイン (AdobeInfo) をOnにする必要があります。(QT0839) ・(QualitySoft Corporation)をバックグラウンドでの実行を許可する必要があります。(QT0841) ・スタックプロセス「」にインストールされている場合、QND5は起動しません。(QT0840) ・スレーブサーバのインストールは、インストールしたスケジュールに実行し、画面は記録できません。(QT0840) ・任意インベントリにて「ホストグループ選択」の項目がある場合、任意インベントリ全体が更新されません。(QT0854) -macOS14では以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・前ユーザーで初期ログインした場合、QND5のインストールが完了し、ログインと再起動後、本画面は発生しません。(QT0852) ・ログインパスワードで実行はできません。なお、パスワードは許可です。(QT0853) ・QNDクワイアントをApple silicon端末にインストールする場合はRosetta2をインストールする必要があります。(QT0849)
QND ClientLog	Ver.2.6.11.5i	x	x	x	x	未定	<p>【前提事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> -画面収録設定(*)でQND ClientLogクワイアントを許可する必要があります。 (*)画面収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> 1.端末上で任意の操作ログアウトを発生させる 2.OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」→「画面収録」からQND ClientLogクワイアントを許可する -macOS 11.12では一部のOSが正しく動作しない場合があります。ログアウト時にエラーが記録される等、正しく動作しません。 -macOS 13にて外部デバイスへの書き出しログが取得できません -macOS 13にて、「バックグラウンドでの実行を許可」からQCLUserAgentをOFFにした場合、QCLクワイアントが動作しなくなる
ISM CloudOne	Ver.7.3.1i	○	○	△	△	未定	<p>【前提事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> -ISMクワイアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。 -Ver.6.8.1以降のISMクワイアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップグレードすると、ISMクワイアントが動作しません。 -ISMクワイアントの再起動を許可しない場合、アップデート通知やメッセージ通知が表示されません。 -画面収録設定(*)でISMクワイアントを許可しない場合、操作ログアウトやスクリーンショットが登録とメニューバーの表示になります。 また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。 (*)画面収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> 1.端末上で任意の操作ログアウトを発生させる 2.OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」→「画面収録」からISMクワイアントを許可する -macOS 10.14にISMクワイアント (64bit版) をインストールした状態でmacOS 10.15バージョンアップすると、外部デバイス制御と操作ログ取得が正常動作しない場合があります。 -macOS 10.15にISMクワイアントを新規インストールした場合は警告は発生しません。 -macOS 10.15.0以降にVer.6.8.10以上がクワイアントはインストールできません。Ver.6.8.9をご利用ください。 -Mac OS 12からMac OS 13以降にアップグレード後、外部デバイス制御と操作ログ取得機能が利用できない場合があります。 -「OSを再起動する」ことでこの問題は解決されます。 -「バックグラウンドでの実行を許可」項目を手動で変更した場合、以下の事項が発生いたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・「バックグラウンドでの実行を許可」でQualitySoft CorporationをOFFにした場合、ISMクワイアントが動作しなくなります。 ・「バックグラウンドでの実行を許可」でQualitySoft CorporationをOFFにした場合、外部デバイス制御と操作ログ取得ができなくなります。 ・「バックグラウンドでの実行を許可」でSciencePark CorporationをOFFにした場合、外部デバイス制御と操作ログ取得ができなくなります。(TT8229) -macOS14では、SafariDock欄に追加したWebサイトを起動した場合、Webアクセスログが取れません。(TT8229) <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> -ISMクワイアントがインストールされている端末をmacOS Montereyにアップグレードした場合、OSの通知アイコンに解除済みのマークがオーバーレイ表示される場合があります。本表示は端末を再起動することで解消します。なお、本表示がされてもISMクワイアントの動作に支障はございません。 -Ver.7.3.1を新規インストール、またバージョンアップした場合「ismc.log、ismcd.log、ismcd-util.log」に多数のエラーが出力されますが、動作上の影響はありません。(TT8220)
KeyServer	Ver.7.8	○	○	○	x	未定	

製品名	実行バージョン	iOS (14)	iOS (15)	iOS (16)	iOS (17)	対応予定バージョン	対応情報・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
ISM CloudOne	Ver.7.3.1i	△	△	△	△	未定	<p>【注意事項】</p> <p>インバース版アプリはOS11.0 以降に非対応</p> <p>【前提事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> -監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない場合があります。 (*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 なお、iOS12.0以降バージョンアップした場合、割り当てられているプロファイルが変更されるまでは監視モードでも制御が可能です。変更される端末の制御ができなくなります。 -「設定アプリ」→「プライバシー」→「位置情報」で、iOSクワイアントプログラムの位置情報取得機能を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしないければ、位置情報を取得できません。 -個人データ取得同意確認メッセージの内容が正に表示されない場合があります。 -ISMサーバで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 -iOS17では、ロックダウンモードが有効の場合、位置情報が取得できません。 -iOS16以降、Wi-FiとMACアドレスは、クワイアント(アプリ側)側で取得、表示できません。 <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> -iOSクワイアントの初期登録 -インベントリ収集 -位置情報取得 -遠隔再起動の通知 -全端末ソフトウェアのインストール -パスワード管理 -リモートロック -リモートワイプ -ソフトウェア配布 -禁止ソフトウェア設定 -アプリケーションポータル -MDM構成プロファイル情報通知

製品名	実行バージョン	iPadOS (14)	iPadOS (15)	iPadOS (16)	iPadOS (17)	対応予定バージョン	対応情報・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
ISM CloudOne	Ver.7.3.1i	△	△	△	△	未定	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> -監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない場合があります。 (*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 -「設定アプリ」→「プライバシー」→「位置情報」で、iOSクワイアントプログラムの位置情報取得機能を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしないければ、位置情報を取得できません。 -個人データ取得同意確認メッセージの内容が正に表示されない場合があります。 -ISMサーバで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 -iPadOS17では、ロックダウンモードが有効の場合、位置情報が取得できません。 <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> -iOSクワイアントの初期登録 -インベントリ収集 -位置情報取得 -遠隔再起動の通知 -全端末ソフトウェアのインストール -パスワード管理 -リモートロック -リモートワイプ -ソフトウェア配布 -禁止ソフトウェア設定 -アプリケーションポータル -MDM構成プロファイル情報通知